

2025年7月17日
株式会社SVPジャパン

SVPトレンド調査 「現代の消費者行動に関する調査分析」 ～Z世代 インドネシア編～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、『現代の消費者行動に関する調査分析～Z世代 アジア4カ国編～』と題し、経済成長やデジタル化の進展が著しいアジア4カ国（中国、韓国、インドネシア、ベトナム）のZ世代を対象に、消費行動の調査・分析を実施する。今回は、インドネシアのZ世代を対象とした調査結果をレポートにまとめた。

■ 調査目的

価値観やライフスタイルの違いによって、世代ごとの消費行動は多様化している。そうした中で、Z世代の消費行動は世界的に注目を集めており、日本のみならず各国でその影響力が拡大している。今回は、経済成長とデジタル化が進むアジア4カ国（中国・韓国・インドネシア・ベトナム）のZ世代を対象に調査を実施し、各国Z世代の共通する消費トレンドと異なる要因を明らかにし、当該セグメントの特徴をまとめる。

■ 調査概要

調査時期	2025年6月
調査方法	インターネット調査
調査地域	インドネシアの都市部
有効回答数	400名
調査機関	株式会社マーケティングアプリケーションズ

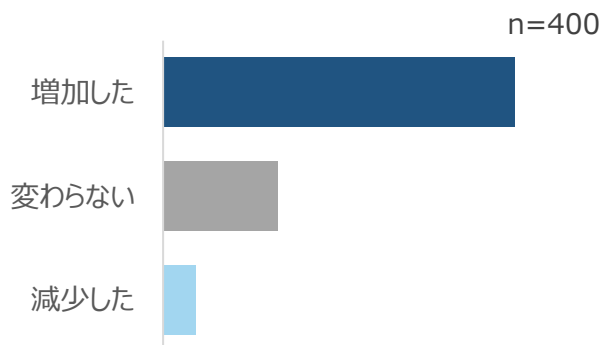
■ 本レポート構成

- ・調査概要
- ・調査サマリー
- 消費支出の推移 ●低価格商品へのスイッチ状況 ●購買決定要因
- 情報源と購買チャネル ●消費意向 ●考察
- ・アンケート調査結果（設問10問）

■ 過去1年の消費支出は大きく拡大。食料品と自身を磨く経験への消費が増加。



過去1年間の消費支出の変化

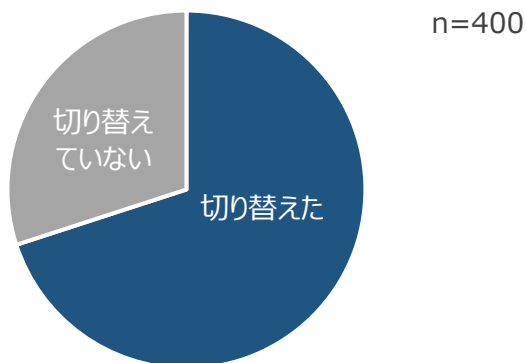


- ・過去1年間の消費の増減指標（増加層の割合と減少層の割合の差）は+64.0ポイントとなっており、消費支出の強い増加傾向にある。
- ・カテゴリ別の消費動向では、本調査が対象とする15カテゴリのうち、12項目で消費支出が伸長。物価上昇や付加価値税（VAT）の引き上げの影響を受けている「食料品」での消費増加が最も大きい。
- ・また、「預貯金・投資」の優先度が高いことや、「美容」「運動・健康」「趣味」など自身を磨く経験への消費が拡大しているのが特徴。
- ・他方、若干であるが、消費支出が減少傾向にあるのは、「嗜好品（飲料・お酒・お菓子など）」と「宝飾品」であり、「クルマ・乗り物」への消費意欲にも変化がない。

■ 消費拡大も、安価な商材へのスイッチ率は高く、価格感度は高め。

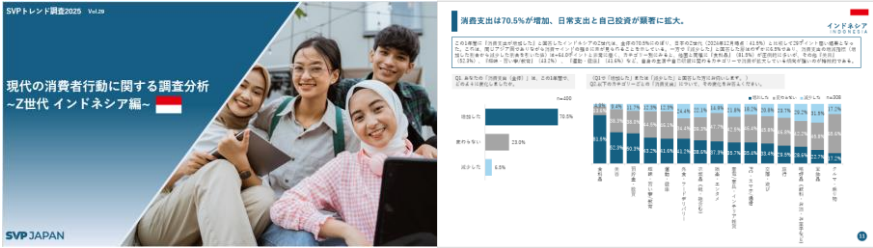


安価なブランド、商品・サービスへの切り替え



- ・消費が拡大傾向にある一方で、多くの人が安価なブランドや商品、サービスへと切り替えている。
- ・安価な商材へスイッチを行った層の半数以上が、「食料品」と「衣類品（靴・鞆含む）」を対象としている。
- ・消費が拡大傾向にある「美容」や「PC・スマホ/通信」などのカテゴリでも、スイッチ層が多く存在しており、価格を重視する姿勢が鮮明。
- ・物価上昇と個人収支のバランスを取るためでもあるが、割引など価格に敏感でコストパフォーマンスを重視する価値観を有しているのが、インドネシアの人々の特徴である。

詳しくは、本編レポートに記載。※下の画像をクリックして、会員専用サイトからご覧ください。



■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



SVPトレンド調査更新スケジュール・・・毎月第3木曜日の発刊を予定

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com

※本レポートの内容、画像等の一部もしくは全部の複製、無断での転載・複写をお断りいたします。